

単  
元  
名

## 共に生きる生活 ～SDGs を広げよう～

教科書出版社名（ 開隆堂出版 ）

○ 小学校（ 6 ）年 教科等（ 家庭 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

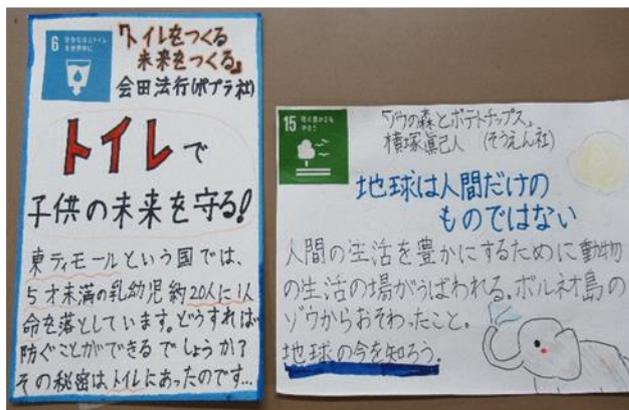
- ・自分の生活や地域の環境をよりよくするために役に立つ本を探すことができる。
- ・見つけた本を読んで、他の人に薦められるようにする。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・資源やエネルギー問題、食糧自給率など様々な社会の課題についてかかっている本について、どんな本がどのくらいあるのか事前に調べておく。
- ・「SDGs（持続可能な開発目標）」の視点をもとに、本を選ぶようにする。

○ 学習の展開（全3時間）

第1次	・「SDGs」について知る。 ・ユネセフの動画や「お仕事年鑑 2019（朝日新聞社）」など、「SDGs」に関わる資料から、自分が考える課題を決める。
第2次	・課題を解決するため、ヒントになりそうな本を探す。 ・課題解決に向けて参考となる本を校内に紹介するために、その本のポップをかく。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・「全校児童に SDG s について知ってもらう」という目的のため、自分が選んだ本でポップを作ったので、学習活動に目的が生まれ、主体的に取り組む姿が見られた。</li><li>・これまでの環境学習や平和学習を生かして取り組んでいる子どもも多くいた。</li><li>・ポップ作りを通して、本の内容を短い言葉で書き表すことができた。</li></ul>
② 課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・本選びに時間がかかる子どもが数名いた。活動前に分類や本の配置場所についての学習を振り返ったり、事前に学習活動の予告をしたりすればよかった。</li><li>・ポップを作るにあたって、キーワードやキャッチフレーズを上手に本から引用できる子どもと長い文章ではかけるが短い言葉での表現が難しい子どもとの個人差があった。与えられた条件に合わせてかき方を変え、情報を活用していく力を養う学習経験を積み重ねていく必要性を感じた。</li></ul>
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"><li>・「SDG s」について初めて知った。これから、もっといろんな人に知ってほしい。</li><li>・自分がポップを書いた本を他の学年の人に読んでほしい。</li><li>・自分にも身近なことでできることがないか考えていきたい。</li></ul>

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none"><li>・本選びが、環境や貧困に集中していたので、迷っている子どもや探している子どもには、食育や住環境など他の社会的課題に関わる本を提示して、いろいろな課題に取り組めるようにした。</li><li>・ポップの作り方について、ポイントを書いたワークシートを作成した。また、実際に教員が本をつかってポップを作り、その作品を提示することで、活動のイメージをつかむことができるようにした。</li><li>・「SDG s」関連の本であることを分かりやすく示すために、「SDG s」のマークをポップに貼り付けるようにした。</li></ul>
--